

体同連

■剛柔流空手道部

わが空手部は、部員45名、さまざまな目的をもった者が稽古に合宿に試合に心身の鍛錬と武道精神の修養に熱意を燃やしている。

合宿は春・夏二回また年に三回ほどの対外試合の他、禅や活・人工呼吸などあらゆる角度から武道としての空手道を修得せしめんと意欲をもって若き肉体を研磨している。

『礼に始まり礼に終る』剛柔流空手道は『身に寸鉄を帯びず徒手空拳をもって身を守り敵を防ぐ』ものであり、しかしながら『人に打たれず人打たず事無きをもととするなり』と真の空手精神を肉体と精神が両面からの調和をもって、より新らしき人間形成に役立てんとするものである。

古来、武士道とは死ぬこととみつけたり——されど現代武士道とは、死中に活を求める現代社会に対する生への絶えざる欲望である。

■居合道部

居合道、この名前を聞きなれない方が多いと思いますが、この武道は新しい武道ではなくて古武道に属するものなのです。居合の歴史は、剣術の発生とはほぼ同時に始まったといってもいいでしょう。立原正秋の「剣と花」の小説の中に「居合とは座したまますばやく刀を抜いて相手を斬り倒す技だと言う。実に野蛮で残酷な武術だ」又「文明の発達とは別なところでそんな野蛮な武術が生きている」と書れているが、たしかに本来の居合はきびしいものだと思います。生死の境に、一剣に我が身をたくす。その世界は当然厳しき、激しきが要求されるはずです。

しかし、現在の我々は本来の厳しい居合というもののできにくい環境に生きているのです。

中には居合を単なるスポーツとみなして刀を抜く人もいるのです。それでも我々は、少なくとも明大居合道部は来本の一剣に我が身をたくす、そして生への道を切り拓く居合道を目指して日夜修業に励んでいるのです。

我が居合道部は、駿台祭に参加するのは今年が初めてですが、居合道啓蒙の為に趣向を凝らして居合道の一部分となりお目にかけ、居合道普及の役にたちたいと思っております。

学園都市生田に誕生したスポーツの殿堂!!

AMF82-82型 ストリームレーン 3F48レーン



ミナミ生田ボウル

◆明治大学専用優待割引券発行中

◆学生割引有り（学生クラブ及びゲーム料金等、すべての面で割安です。）

〒214 川崎市多摩区生田1568 TEL 044 (90) 3011~3

※向ヶ丘遊園駅北口下車・多摩警察署前

合 気 道

合気道は一瞬にして相手を捻伏せしめ得る武道です。しかし、武道である合気道の目的は相手を倒す事ではなく、相手を作らない事であり、その真髄は吸収力による和合であります。

我同好会は昭和43年に発足し、早や5年目を迎えました。現在部員は約40名で多くもなく、丁度良い数なのです。何事も民主的で、強制もなくとても自由です。しかし、締める所では締めるし、締まります。我同好会も他部の例に洩れず、色々の矛盾、欠陥をはらんでいますが、各部員が理想を目指し努力しています。

私達は合気道の競技他を目的とし、乱取試合を取入れた富木システムにより合気道を学んでいます。現在の合気道は流派に縛られていて、交流も思うに任せません。しかし、交流の場として、競技合気道の形式により切磋琢磨し、ここにおいて合気道は統一されると信じます。競技合気道はまだ、完成の域には達していないので、確固たる競技規程の作成とか技術水準の向上等の問題が山積しています。しかし、それも次々と解決されようとしています。そして今年、第三回全日本学生合気道競技大会を東京で迎えようとしています。

■女子柔道同好会

嘉納治五郎師範が大正15年講道館女子部を創立されたのは次の様な事を念頭においての事であると伝えられている。元来講道館柔道の本意は第一にその人の技によって人間形成の道を目的とするもので勝負が眼目ではなかった。しかし修業者達はただそれで満足せず現実の柔道は力が主となり強くなる事のみにとらわれがちである。自分本意の技を磨き人間を作る為には女子柔道において他にない…。そして現在女子柔道は講道館女子部だけでなく地方の道場或は学校等においても多くの修業者を得るに至った。

ところが3年程前の女子柔道修業者のアンケートによると現在の女子柔道に不満であるが実に64%。不満の理由をあげればまず第一に試合がないのでつまらない。試合で自分の実力を知りたいし張り合いも出るし、女子柔道発展の為世間に認めてもらふ為試合が必要だという意見、又現在の女子柔道は形のみにとらわれすぎるとか、地方で指導者が少ない為充分な指導が受けられない。海外へ指導者を送るより国内普及の為まず指導者を地方に送れという意見等である。

試合のない事はよく議論的となるが嘉納師範の女子柔道に対する思慮と有償のものとして行なわれ根本精神を失いつつあるスポーツが多い事を考えると試合のない女子柔道はここにおいて本来の意義が見い出されると思う。

“理化学器械専門店”
株式会社

前田製作所

東京都文京区本郷二丁目十七
TEL 八一三—二二九一(代)

ちょっとうれしい新型カローラと
セリカのライバルはセリカを販売する

トヨタ新東京カローラ株式会社

東京都墨田区吾妻橋3-8-6
TEL (624) 3161(代表)

体同連

3号館341番教室

■釣友会

我釣友会は、文字通り魚釣りを愛好する者達の団体として日々、活動を行なっているサークルであります。よって会員相互が強い絆で結ばれている反面、非常に趣味的色彩が濃いために、とにかく釣そのものに耽溺し、釣に関連、派生するものに疎いというのが今日の現状のようであります。そういう意味において今回の駿台祭においては、従来のパターンを打破し、新たな姿勢をもって臨むことにより、将来のサークル活動の方向づけをし、あちせて広く部外者の方に我釣友会の実態、活動状況を認識して頂くことが私達の目的であり、最大の狙いなのであります。具体的には、ハゼの天ぷら、金魚すくいといった模擬店を出し、御客様との接触によって人間回復をはかり、展示会場は公害に挑戦し、社会奉仕活動の一つとして自然、魚族保護に真剣に取り組み、学生ならではの釣といったビジョンを明確に打ち出す所存であります。御来店、御来場を釣友会一同御待ち申し上げます。

■探検部

探検とは人類が未知に向ってその事実を知ろうとする探究行動である。我々明治大学探検部は部創立以来10年目を迎えるが、部創立当所より広く海外にフィールドを求め、アラスカ、ボルネオ、台湾、韓国等に遠征隊を出している。国内においても登山合宿、洞窟探査合宿、川下り合宿、島合宿を中心に日本全国くまなく足跡を残している。しかし交通機関の発達により、地理的探検が不可能となった現在、どのような探検をどのような方法で行なうかが今後の課題であり、どう行なうかによって大学探検部の存在理由も問われるであろう。あるものは海へ、あるものは洞窟へ、あるものは学術的な探検へと変って来ている。しかしどう変わろうとも、身心を鍛え、どんな困難、どんな危険にも恐れてはならない。

なお駿台祭においては、昨年夏の韓国合宿と今年春の宝島合宿を中心とした写真展示を行ないます。

少ない予算で大きな夢を
オートパーツ&カーアクセサリー
城西パーツセンター株式会社

川崎市生田1416-3 TEL 044(92)1186-9